



製品や原材料の金属含有量を測ることができる  
分析機器—徳島市の県立工業技術センター

### 県工技センター

# 金属量測る機器導入

## 企業の製品開発を後押し

徳島県立工業技術センター(徳島市)は、製品や原材料の金属含有量を測定する分析機器を導入した。環境基準や法に適合した新製品の開発などに役立てることができ、県内企業に利用を呼び掛けている。

製品や原材料の試料を酸で液化化した上で、バーナーで高温状態にし、調べたい金属元素ごとに特定の光を当てると、光の吸収度を測ることによって、試料中の金属含有量が分かる。工場から出された廃液などの液体試料も測定でき、鉛やヒ素、水銀といった有害物質を

調べられる。購入費は839万円、このうち3分の2を公益財団法人JKA(東京)からの補助金で賄う。利用料は、調査を工技センターに依頼すると4910〜9180円。企業側が自ら機器を使う場合は1時間当

たり3290円(いずれも税込み)。利用の申し込み、問い合わせは工技センター(電話88(635)7901)。

(久保高茂)